

	<h1>七松小学校 学校だより</h1>	<p>令和3年度 7月号 尼崎市立七松小学校 校長 江上佳宏</p>
---	--------------------------	--

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



七松版GIGAスクール(NGS)の実現に向けて

I C T 環境を適切に活用し学びを深める～令和の学び～

私は、昭和に生まれ、昭和の時代に学び、そして平成の時代を小学校教員、教育委員会事務局職員として、兵庫県や阪神各市の教育に携わってきました。

私が教員をめざし、大学入試や教員採用試験の合格に向け我ながら努力したのは、教科書や参考書を読み込み、対面授業で先生が押さえどころを教えてください、しっかりそれを覚えました。それが正しい学習法とは思いませんが。

昭和に生まれた私は、未だにパソコン・スマートフォン等は、使い慣れるのに時間がかかり、取扱説明書やマニュアルを読んでも、次々に新しい専門用語が使われ、しっかり読もうと思っても、いつの間にこんな言葉が使われているのか理解に苦しんでいます。自分は、益々、時代から取り残されてしまうのではないかという焦りを覚えます。

令和元年12月19日、文部科学大臣がびっくりするようなメッセージを出されました。その中にも、Society5.0時代（※注）に生きる子どもたちにとって…略 いきなり初めて聞く言葉です。それはさておき、1人1台端末環境は、もはや令和の時代における学校の「スタンダード」であり、特別なことはありません。これまでの我が国の150年に及ぶ教育実践の蓄積の上に、最先端のI C T教育を取り入れ、これまでの実践とI C Tとのベストミックスを図っていくことにより、これからの教育は劇的に変わります。というものでした。

国レベルですべての子どもたちに一人1台。まさに夢のような話と思いました。莫大な予算がかかり、ネット環境等ハード面や学習者用教材等のソフト面でも様々な課題があり、すぐには実現できないものとその時は思っていました。

しかし、新型コロナ対応をしているうちに、いつの間にか尼崎市においても環境整備が進み、令和3年3月には保護者様あてにも通知されるに至りました。

本校でも昨年度までは、1名であった情報教育担当教員を3名に増員し、従来の情報教育担当に加え、プログラミング教育・情報モラル教育の充実及びI C T機器を使った授業改善を担当する教員。その2名を補佐する教員1名を充て、尼崎市教育委員会と連携し、教職員への実践的な研修を計画的に行っています。

パソコンが配られてから子どもたちが部屋から出てこなくなった等とご家庭から相談を受けることのないよう、パソコンは、鉛筆やノートと同じ文房具、学びを深めるために欠かせないマストアイテムであることをしっかり指導したいと思います。

ご家庭におかれましても趣旨をご理解いただきご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

※注 「**Society5.0**」とは、これまで人類が経験してきた4つの社会、狩猟社会（**Society 1.0**）、農耕社会（**Society 2.0**）、工業社会（**Society 3.0**）、情報社会（**Society 4.0**）に続く我が国の新たな社会の姿として、第5期科学技術基本計画において提唱されたもの。（自治体ポータルより抜粋）